

授業科目名	中小企業論	科目コード	G4202P02
英文名	Small and Medium Enterprises		

科目区分	経営情報専攻科目 - 経営環境		
------	-----------------	--	--

職名	教授	担当教員名	高橋 哲郎
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	金曜日	時限	1限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>我が国経済の構造変化に伴い、地域経済の担い手としての中小企業が抱える問題と役割も変化している。地域経済と中小企業が直面している状況を理解し、課題解決策を考えることを目的とする。富山県の経済と中小企業への理解を深めることを目指す。グループ学習などアクティブラーニングを取り入れる。</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	中小企業	地域経済	地域資源	地域課題	中小企業白書
-------	------	------	------	------	--------

到達目標	中小企業を多方面から理解することにより、地域経済活性化への認識を深める。(30%)				
	地域経済（特に富山県経済）と（富山の）中小企業に対する理解を深める。(35%)				
	グループワーク等でコミュニケーション力、協働力を高める。(35%)				

ディプロマポリシー	4.社会人としての能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	幅広く多様な専門知識の修得	経営情報に関する専門性の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	【予習】シラバスを読み不明なところあれば講義時に質問する。	20分
	【復習】当日の講義内容の整理。 特に中小企業概念、定義についてしっかり理解すること。	20分
第2回	地域資源とはなにかを学ぶ。 地域ブランド、地域おこしについて。 地域「難題」について	
	【予習】配布資料（地域資源、地域ブランド、地域「難題」）を予習する。	20分
第3回	近年の技術革新（IoT、ビッグデータ、AIなど）による地域資源の活用について考える。	
	【予習】配布資料（近年の技術革新関連資料）を予習する。	20分
第4回	【復習】IoT、ビッグデータ、AIなどのキーワードを理解し、地域資源に活用する事例を調べる。	20分
	技術革新（IoT、ビッグデータ、AIなど）による地域資源の活用事例を調べる。 グループ分けを行い、チーム課題を設定する。 アイスブレイク。	
第5回	【予習】富山県の地域資源を調べる	20分
	【復習】プレゼン資料の作成。	20分
第6回	技術革新（IoT、ビッグデータ、AIなど）による地域資源の活用を考える。 グループで地域資源を調べる。	
	【予習】富山県の「地域難題」は何かを調べ、考える。	20分
第7回	【復習】プレゼン資料の作成	20分
	調べた内容をプレゼンする。 質疑応答。	
第8回	【予習】プレゼン資料の作成。	20分
	【復習】プレゼン資料の作成。	20分
第9回	調べた内容をプレゼンする。 質疑応答。	
	【予習】プレゼン資料の作成。	60分
第10回	【復習】プレゼン資料の作成。	20分

第8回	調べた内容をプレゼンする。 質疑応答。	
	【予習】プレゼン資料の作成。	60分
	【復習】プレゼンのフィードバック。	20分
第9回	富山県の地域資源について	
	【予習】配布資料（富山の地域資源）を予習する。	20分
	【復習】講義内容の復習。	20分
第10回	富山県製造業の強みと弱みについて IoT、ビッグデータ、AIなどの富山県内の取り組み状況を調べる。	
	【予習】配布資料を予習する。	20分
	【復習】講義内容の復習。	20分
第11回	富山県経済と中小企業についてグループで調べる。 IoT、ビッグデータ、AIなどの富山県内の取り組み状況を調べる。	
	【予習】配布資料（富山県経済と中小企業関連資料）を予習する。	20分
	【復習】プレゼン資料の作成。	20分
第12回	富山県経済と中小企業についてグループで調べる。 IoT、ビッグデータ、AIなどの富山県内の取り組み状況を調べる。	
	【予習】プレゼン資料の作成。	20分
	【復習】プレゼン資料の作成。	20分
第13回	調べた内容をプレゼンする。 質疑応答。	
	【予習】プレゼン資料の作成。	20分
	【復習】プレゼンのフィードバック。	20分
第14回	調べた内容をプレゼンする。 質疑応答。	
	【予習】プレゼン資料の作成。	20分
	【復習】プレゼンのフィードバック。	20分
第15回	これまでの学習内容の整理。 期末試験について。	
	【予習】講義内容の整理、復習。	20分
	【復習】期末試験問題対策	20分

	期末試験	
第16回	【予習】期末試験問題対策	120分
	【復習】試験問題でわからなかった事項を復習する。	30分

評価方法	<p>期末試験(50%)、課題提出・取組姿勢(プレゼンテーション等)(50%)により評価する。 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。 【ディプロマポリシー配分比率】専門性：60%、社会性40%</p>
------	---

使用資料 <テキスト>	使用しない。 適宜、資料を配付する。	使用資料 <参考図書>	講義中に随時紹介する。
----------------	-----------------------	----------------	-------------

授業外学修等	<p>出席は毎回とる。3分の1以上欠席した者は単位を取得できない。 配布資料による予習・復習を欠かさない事が肝要。</p>
--------	--

授業外質問方法	<p>授業後とオフィス・アワーにて対応する。メールでの質問は授業時間中に指示する。</p>
---------	---

オフィス・アワー	<p>木曜日1時限、130研究室</p>
----------	----------------------